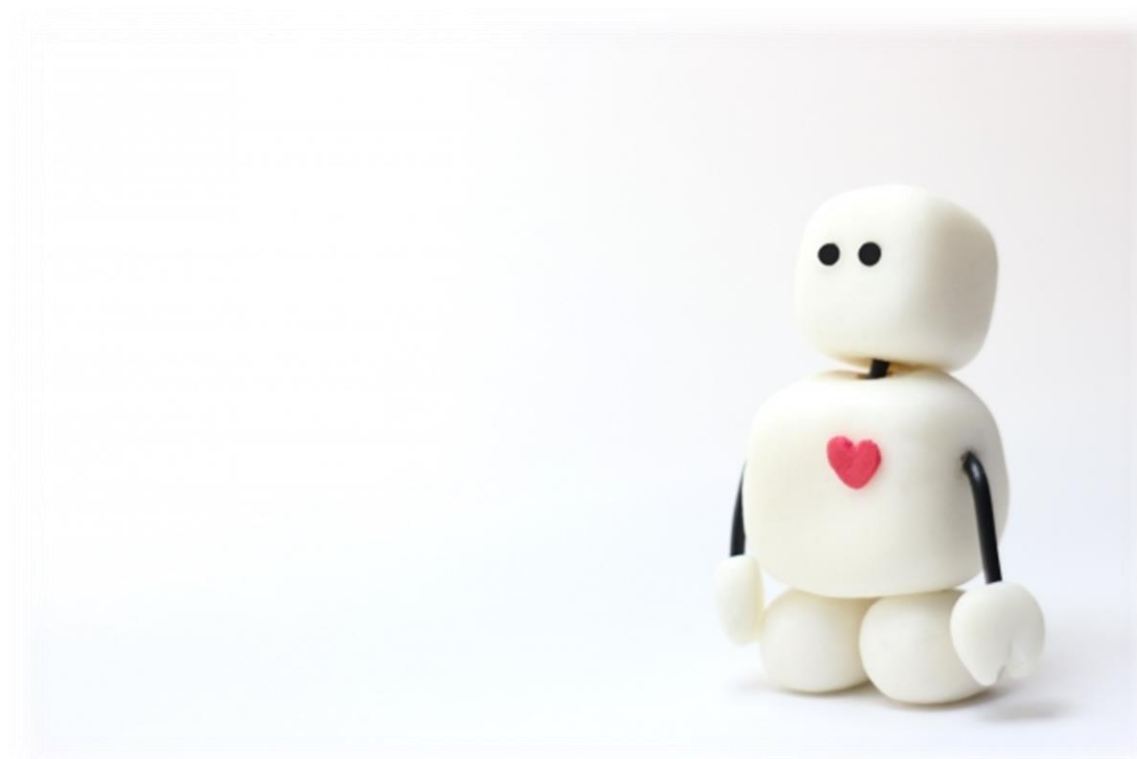


令和4年度『学校評価』のまとめ

R4千歳市立泉沢小学校



In carrying out school evaluations, it is important for teachers to familiarize themselves with the purpose and outline of school evaluations, and to share the meaning of evaluations.

R 4『学校評価』をふりかえって

児童アンケート（学習アンケート）の実施～2回

教職員（個人・校務分掌）アンケートの実施～2回

保護者アンケートの実施

R4『学校評価』をふりかえって

ふりかえりの10テーマにて、それぞれの自己評価を行った

テーマ ①学力向上

⑤働き方改革

⑨地域

②体力向上

⑥読解力

⑩気づきと行動

③GIGAスクール

⑦規律

④豊かな心

⑧家庭

児童アンケート（学習アンケート）学校全体の結果

Theme	はい！	ふつう	いいえ
①学力向上	62.0%	36.9%	1.1%
②体力向上	68.4%	28.9%	2.7%
③GIGAスク	74.9%	24.1%	1.1%
④豊かな心	65.8%	32.1%	2.1%
⑤働き方改革	59.4%	38.0%	2.7%
⑥読解力	50.8%	46.0%	3.2%
⑦規律	66.8%	31.6%	1.6%
⑧家庭	61.2%	31.6%	7.5%
⑨地域	47.1%	44.4%	8.6%
⑩気づきと行動	59.4%	38.0%	2.7%
⑪理科	65.7%	27.1%	7.1%

保護者アンケートの結果

Theme	はい！	ふつう	いいえ
①学力向上	45.4%	47.3%	7.3%
②体力向上	29.1%	43.6%	27.3%
③GIGAスク	72.7%	25.5%	1.8%
④豊かな心	61.8%	36.4%	1.8%
⑤働き方改革	54.5%	41.8%	3.6%
⑥読解力	67.3%	23.6%	9.1%
⑦規律	58.2%	36.4%	5.5%
⑧家庭	50.9%	41.8%	7.3%
⑨地域	25.5%	56.4%	18.2%
⑩気づきと行動	34.5%	61.8%	3.6%

教職員アンケート（個人）学校全体の結果

Theme	はい！	ふつう	いいえ
①学力向上	46.2%	46.2%	7.7%
②体力向上	30.8%	69.2%	0%
③GIGAスク	46.2%	38.5%	15.4%
④豊かな心	53.8%	38.5%	7.7%
⑤働き方改革	38.5%	38.5%	23.1%
⑥読解力	61.5%	30.5%	7.7%
⑦規律	61.5%	38.5%	0%
⑧家庭	61.5%	38.5%	0%
⑨地域	23.1%	69.2%	7.7%
⑩気づきと行動	84.6%	7.7%	7.7%

教職員アンケート
(校務分掌) 学校全体の結果

Theme	はい！	ふつう	いいえ
①学力向上	50.0%	33.3%	16.7%
②体力向上	100%	0%	0%
③GIGAスク	66.7%	33.3%	0%
④豊かな心	58.3%	25.0%	16.7%
⑤働き方改革	69.2%	30.8%	0%
⑥読解力	44.4%	44.4%	11.1%
⑦規律	66.7%	33.3%	0%
⑧家庭	66.7%	33.3%	0%
⑨地域	69.2%	23.1%	7.7%
⑩気づきと行動	53.8%	38.5%	7.7%

Themeごとの分析



①学力向上

教① 児童の学力向上を見据えた授業改善により、成果をあげることができましたか？

校務① 学力に関する情報の分析や発信は、児童の学力向上へ向けて役立てることが出来ましたか？

児① 進んで学び、学力を伸ばすことができましたか？

保① お子さんの学力を伸ばすために、保護者として積極的な関わりを持てましたか？

教職員

児童

保護者

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

学びの 捉え方

教職員と保護者の捉え方が同様な結果となっています。一方児童は、学力向上の実感が大人たちよりもあるようで、よく学べている自覚を持っていることがわかります。ここから、大人たちの見ている視点と子ども自身が感じている目線の違いがあるのではないかと推測できます。確かに、NRT等の学力データと照合すれば、本校の児童の学力はそう高くはなく低くもありません。そう考えれば、大人たちは「できる」といった視点で学力を見ているのに対し、子どもたちは学ぶことを「楽しい」と感じているのだと考えられます。

要するに、学力とは？できるって何？等、今求められている学びの観点を改めて教職員と家庭が共有して捉え、授業改革や家庭学習の質を高めていくことにつなげることができないのでしょうか。今後の本校学力向上は、学校課題そのものであるし、教育の中心と考え、新年度へつなげたいものです。

新年度へ



- 子どもたちの「学べてる実感」を大切にすること
- 私たちの授業を更新し続けること
- 家庭での学びの向上を図っていくこと

⇒学校課題としての学力向上へ

- ・ 授業改革
- ・ 家庭学習の更新
- ・ 学力観の共有

②体力向上

教② 児童の体力向上を見据えた活動により，成果をあげることができましたか？

校務② 学校の体育的取組や，運動会等の行事運営は，児童の体力向上につながる充実したものにする事が出来ましたか？

児②進んで身体を動かし，体力を伸ばすことができましたか？

保②お子さんの体力を伸ばすために，保護者として積極的な関わりを持てましたか？

教職員

児童

保護者

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

伸びの 実感更新

学力向上と同じように，子どもたち自身は体力が伸びたととてもよく実感しています。また，私たち教職員は体力向上に取り組めていないとは，強く感じていません。しかし保護者は，何か体力向上に着手したかと聞かれると，意識している家庭は多くはないことがわかります。

では，家庭で体力向上させてください，といった問題になるのかといえば，そうではないと考えます。学校で取り組めていること，子どもたちが伸びを実感できていること，それを家庭に派生させていくことが大事になります。そのためにも，日々取り組んできたことを，子どもたちがよく実感して，表現できていくような継続的な取組を大事にしていくことが，新年度への目標となってくのではないかと考えます。



新年度へ

- 学校として取組から家庭への体力向上
- 子どもたちの伸びの実感を体得できるような継続的な取組の引継

⇒学校行事および日常の体育的な取組の継続と更新
・体育的な取組の年間計画と教育課程との関連更新

Themeごとの分析

③GIGAスク

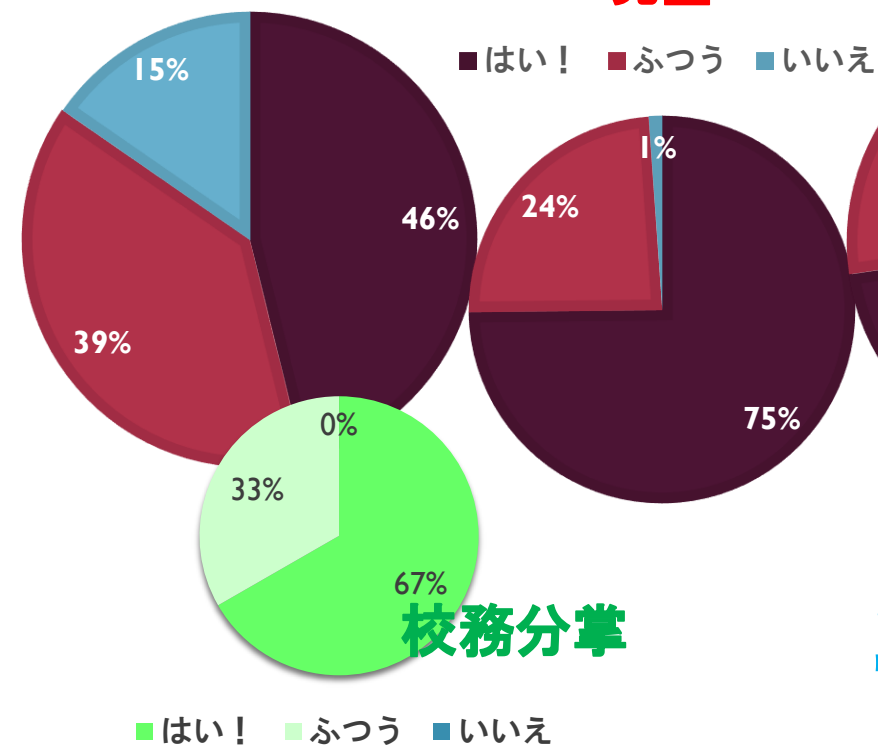
教③ GIGAスクール構想の推進を通して、個別最適化された授業改善に努めることができましたか？

校務③プロジェクトチームの活動を中心に、個別最適化された授業の実現を推進できましたか？

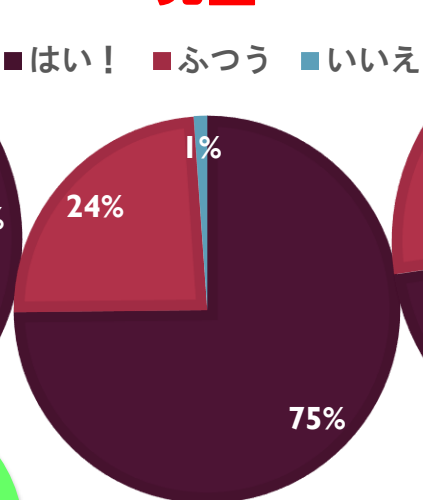
児③学習用タブレットを進んで活用し、自分に合った学びができたと思いましたか？

保③お子さんの学習に、パソコンなどを活用することが必要だと感じる事が出来ましたか？

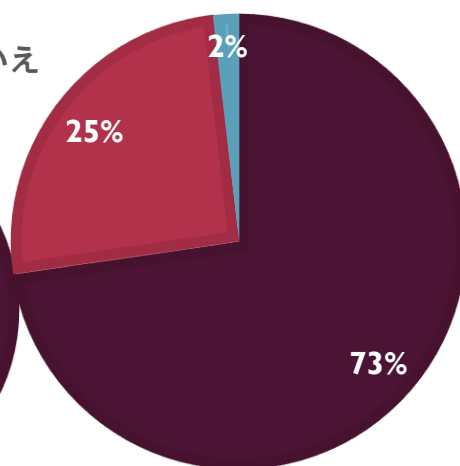
教職員



児童



保護者



校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

学び方の更新へ

GIGAスクール構想の環境が整った今、子どもたちは、その学び方の転換を強く捉えているようです。そんな我が子の姿を保護者も身近に感じて、その必要性を十分に捉えているようです。ただ、それは「学習用タブレット」「パソコン」といったキーワード、つまりは学びのツールに満足感を得ている段階なのだと感じます。それが、教職員のまだまだ更新できるといった結果に結びついています。

GIGAスクール構想の推進は、新しい学びの中核です。ツールをアップデートできた今、学び方そのものを更新していくチャンスなのです。つまり、授業そのものを時代のニーズと身に付けさせたい資質能力に照らし合わせて、大きく改革していく時なのだと捉えましょう。GIGAスクールを中心とした従業改革は、今後の学校課題の中心となるはずでしょう。

新年度へ

- 学びの環境整備完了に満足感あり
- 授業への生かし方には改善の余地あり
- 学び方を大きく更新していく機会と捉える

⇒GIGAスクール推進を授業改革へ

- ・授業改革
- ・ICT機器活用の更なる更新
- ・おうちでGIGAスクールの充実

Themeごとの分析

④豊かな心

教④ HQUを積極的に活用し、親和的な学級づくりに努めることができましたか？

校務④ HQUの結果分析や発信は、思いやりの心を育てる学級づくりへと生かすことができましたか？

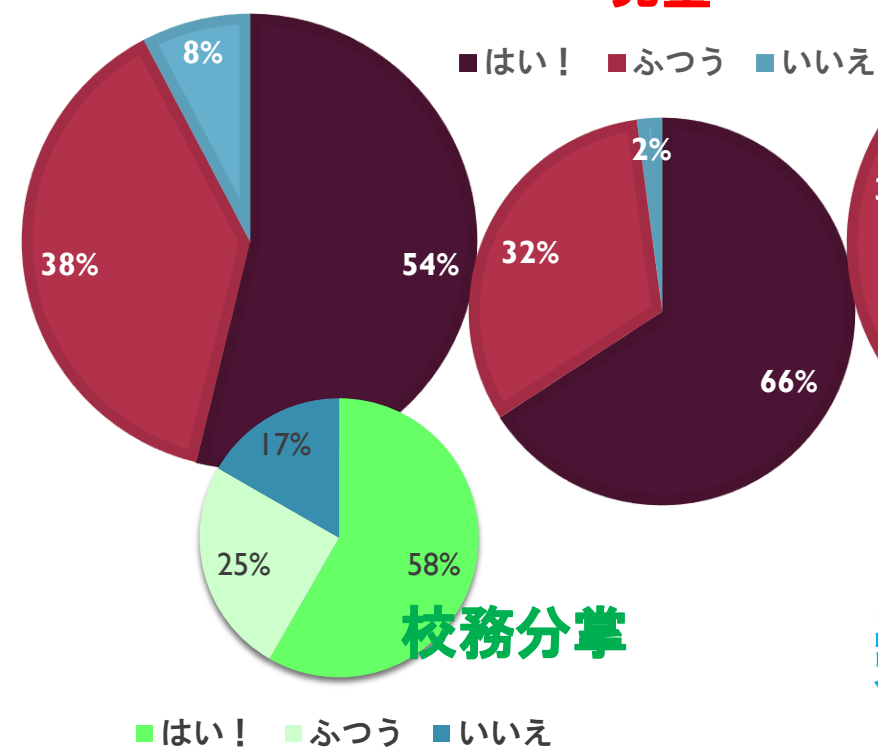
学校の学芸的取組や、学芸会等の行事運営は、児童の豊かな心を育む充実したものにすることができましたか？

いじめ問題や不登校への対応に、学校全体がチームとして取り組めるような働きかけをすることができましたか？

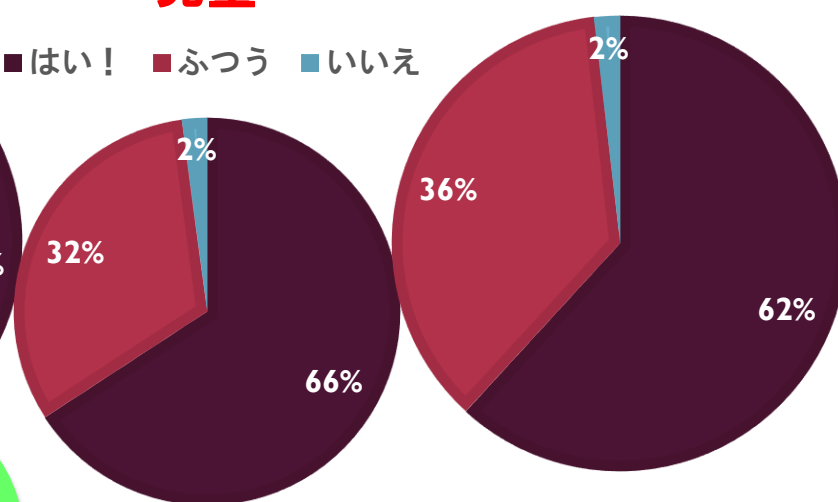
児④ 思いやりをもって、クラスのお友だちと接することができましたか？

保④ お子さんの心の成長のために、保護者として積極的な関わりを持てましたか？

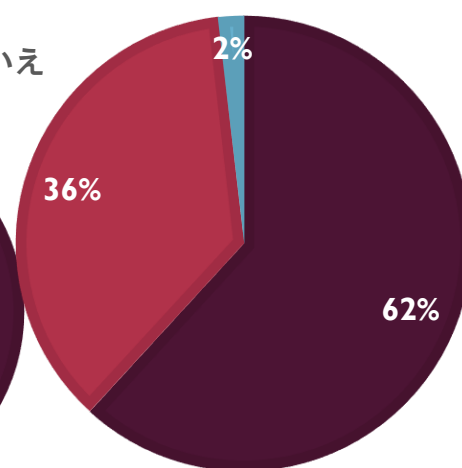
教職員



児童



保護者



校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

親和的な学校

教職員、児童、保護者、三位一体の捉え方をしています。学校全体が、豊かな心をもって、思いやりをもって、人との関わりを大切にした教育を展開している実態をつかむことができます。今年度の子どもたちの学校生活の落ち着きから見て、心の波の穏やかさを理解することができます。もちろん、発達段階としてこれからも子どもたちの心を育てていく余地は大いにありますが、現状、心の育ちを全体で捉えている状態であるといえるでしょう。

今後も、人との関わりを大切にした仲間作りを通して、子どもたちの豊かな心を育む教育活動を継続していきましょう。



新年度へ

- 豊かな心が育ちつつあり、親和的な学校の状態
- 人との関わりを大切にした教育活動の充実感

⇒現状を引き継ぎ、今後の教育活動の充実を図る土台づくりへ

- ・充実した学級経営
- ・いじめ不登校等への組織的な対応

Themeごとの分析

⑤働き方改革

教⑤ 日々の業務を計画的かつ効率的に実行し、子どもや家庭と向き合う時間を有意義にすることができましたか？

校務⑤ C4thを活用した情報共有は、自らの働き方を見直すきっかけとすることができましたか？

児⑤担任の先生と一緒に学んだり、困ったことを解決しようとしたり、することができましたか？

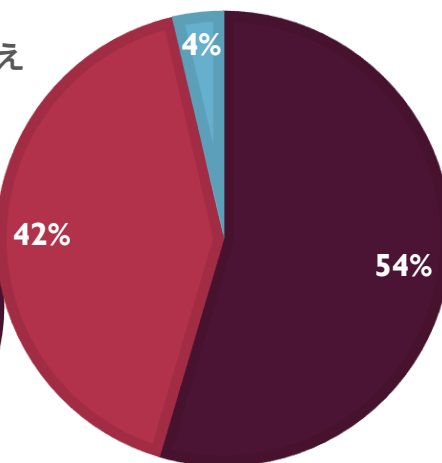
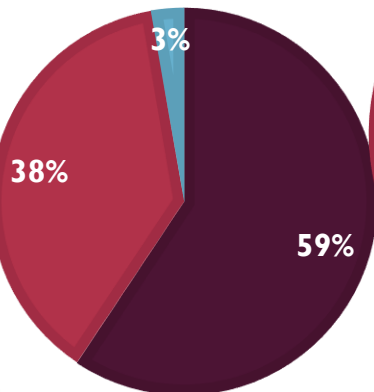
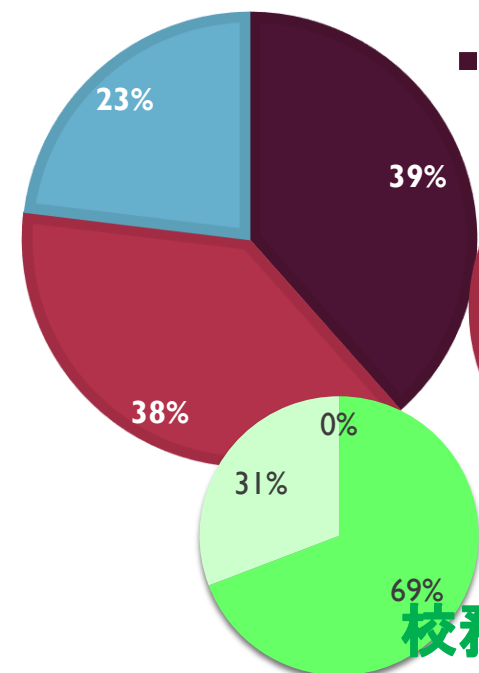
保⑤学校と共に、お子さんの学びや課題について、向き合うことができましたか？

教職員

児童

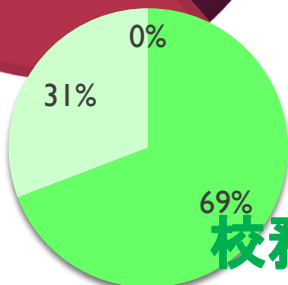
保護者

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ



校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ



働く実感を を続更新

児童はと保護者は、先生との関わりに大いに満足を感じているようです。一方で教職員は、「働き方改革」というキーワードにては、十分な達成感を感じてはいません。この差をどう捉えるべきでしょうか。

私たちはまず、「働き方を改革するのは自身であり、それが子どもや家庭のためである。」と捉えたいものです。その上で、時間を有意義に使うことのみに関われず、効率よく効果的にかつ充実した私たちの働きを獲得していく実感を得たいところです。私たちは決して無理矢理に時間をつくって子どもたちや家庭に向き合っているわけではありません。現状の子どもと親たちの満足感を十分に感じながら、ひとつひとつの業務のアップデートを積み重ねていきましょう。

そのためには、チームで働いている実感を更につくっていくことです。

新年度へ

○働く充実感を得ること。改善している実感を得ること。
一人じゃない感覚をキャッチすること。
○機器の良さを感じて働く満足へ。コミュニケーションの
更なるアップデート。

⇒機器を活用したチームでの働き方改革の続行
・充実した授業の展開と、児童と家庭との時間を大事に

⑥読解力

教⑥各教科において「読解力」を向上させるための授業改善に取り組むことができましたか？

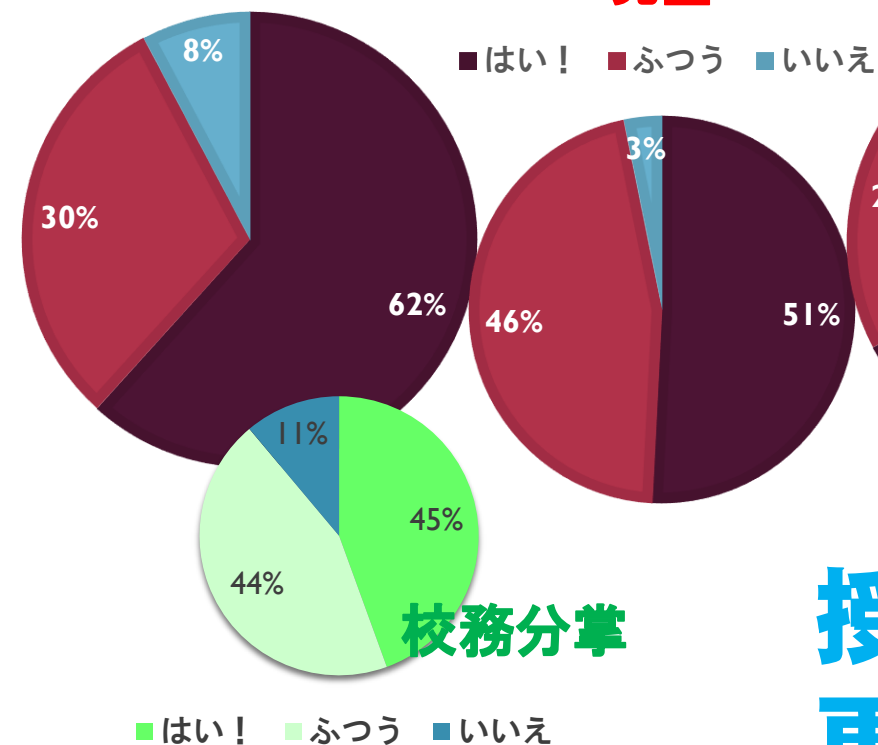
校務⑥各教科において「読解力」を育てるような、研究推進活動を行うことはできましたか？

校内の読書推進活動は、「読解力」育成につなげた活動にすることができましたか？

児⑥「読む」活動や「表す」活動を進んで取り組むことができましたか？

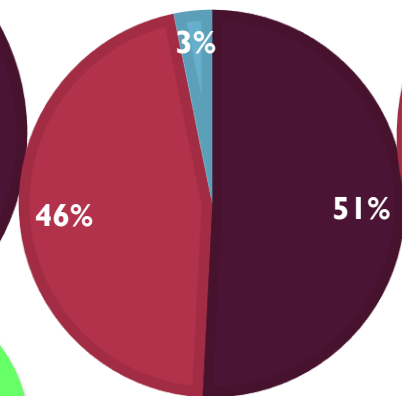
保⑥お子さんの「読む」力や「表す」力が向上していると感じることができましたか？

教職員

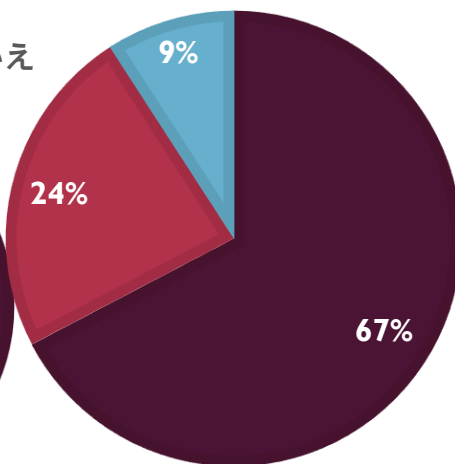


児童

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

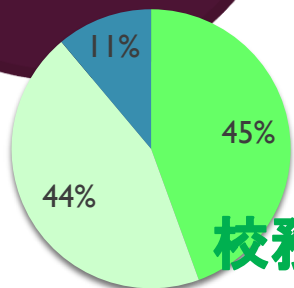


保護者



校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ



授業を 更新って？

今年度の研究テーマからのキーワード「読解力」。それを身に付けるための「読む」と「表す」活動でした。校内研究としての成果は、私たちの授業力向上に関して十分にあったかとは思いますが、それが実感として、それぞれの立場で振り返った場合、十分な成果であったとは言えない結果です。

ここで、取り組んできたテーマがダメとか、運営の仕方がもっと改善されるとか、そう考えるより、今最も必要なことは何かといった視点にて、この反省を生かしたいものです。それが、「授業改革」なのではないかと考えます。

校内研究のあり方やGIGAスクールとの関連、また、本校の学校課題と照らし合わせながら、私たちの授業を更新していく取組へと発展させていきたいと思います。



新年度へ

- 校内研究としての成果から発展的に捉える
- 授業を改革していくきっかけとしていく

⇒校内研究のあり方を考えながら、求められる授業改革への更新を図る

Themeごとの分析

⑦規律

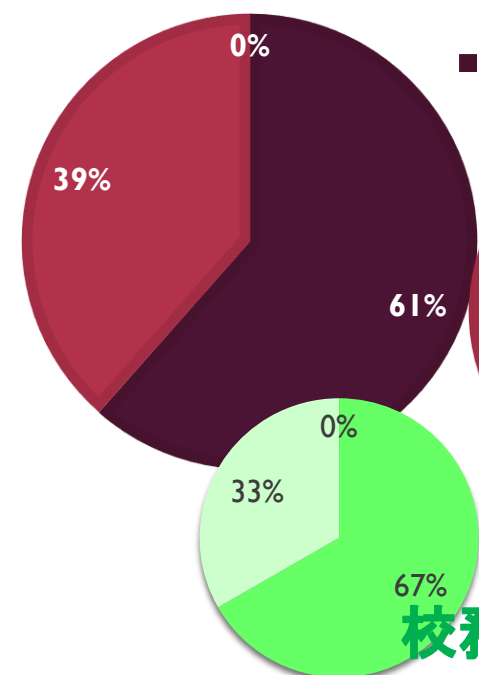
教⑦ 児童が、学校や学級の規律を守ろうとする取組を、進んで行うことができましたか？

校務⑦ 校内外の「きまり」の大切さを学ぶことが出来るような、環境づくりに励むことができましたか？

児⑦ クラスのきまりを、進んで守ろうとすることができましたか？

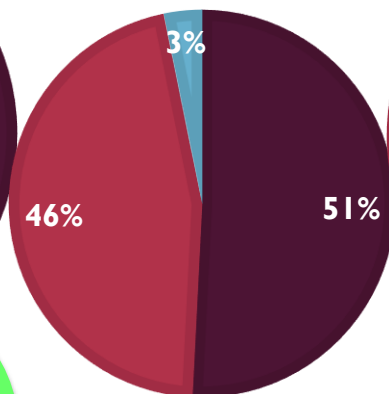
保⑦ お子さんが、きまりやマナーの大切さを感じられるような、関わり方ができましたか？

教職員

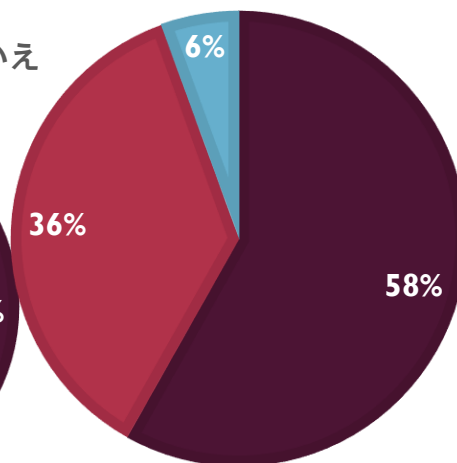


■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

児童



保護者



校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

守れる心を 生かす心

豊かな心の反省と同様に三位一体、とても充実感を感じている項目です。本校の生徒指導の実態やいじめアンケートの結果、また、不登校児童の実態などを考慮すると、泉沢小学校は今、とても落ち着いた学校生活を送ることが出来ているのが実態です。校内あげて、規律を守らせなきゃならん！と躍起になる現状ではないということです。

ただ、子どもたちには、成長過程において、ルールや規律を守ろうとする精神がとても必要です。よって、現状はこれまでの取組の大きな成果といえるでしょう。今後は、守らせる！とした指導から、その精神をどう生活に生かすかといった発展的な捉えがアジャストするのではと考えます。



新年度へ

- これまでの成果の積み上げ
- 守れる心をどう生かしていくか
- 千歳・向陽台スタンダードの活用

⇒継続的な実践と発展的な捉えへ。規律を守らせるから守れる心をどう生かすかへ。

Themeごとの分析

⑧家庭

教⑧児童が、家庭学習（宿題）を自ら行えるような取組を継続してきましたか？

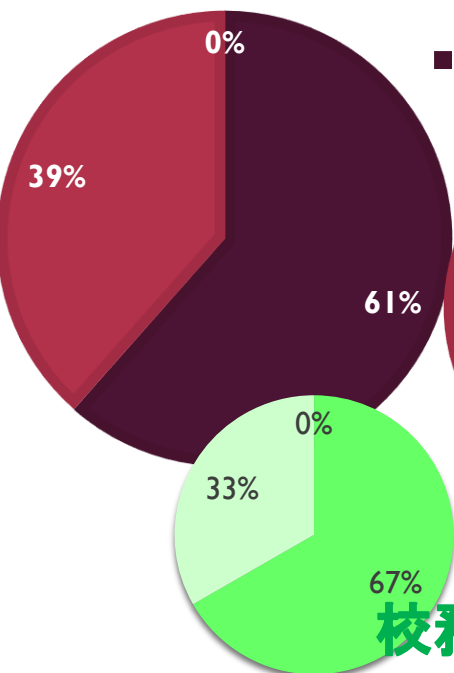
校務⑧参観日や個人懇談などで、各学級担任がより家庭との連携を深めることが出来るように、運営することができましたか？

児⑧家庭学習（宿題）を、進んで取り組むことができましたか？

保⑧お子さんが、家庭学習（宿題）を進んで取り組めるような関わりをもっていますか？

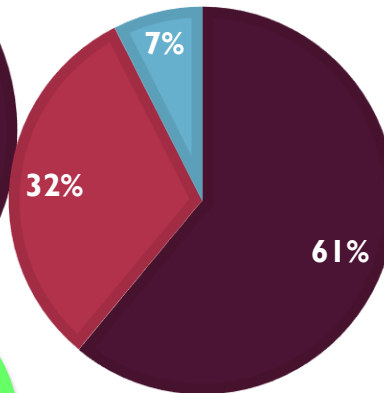
教職員

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

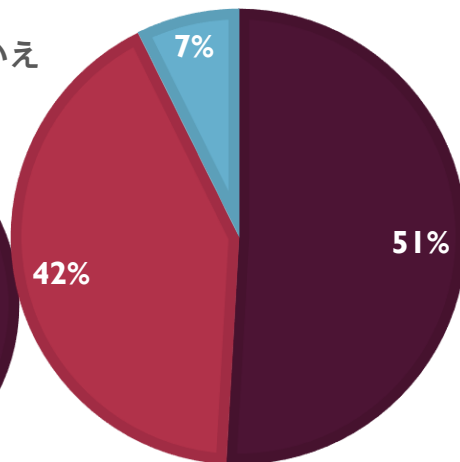


児童

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ



保護者



校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ

主体的に 家庭学習

児童と教職員は、「家庭学習」というキーワードに十分な達成感を得ることが出来ています。しかし、教師や児童が得ている「家庭で一人で学べる」とした実感については保護者の思いへ届いていないようです。それは、家庭が捉える「家庭学習」に私たちの取組の捉え方の違いがあるからではないかと考えます。やらされる「宿題」をこなす量や、机に向かう時間、のみでは、本当の意味での「家庭学習」をさせるには限界があるようです。主体的に学ぶ精神を育てていくことこそ、親の目からみても「ああ、一人で学べてるな」と感じる姿になっていくのではないかと考えます。

充実した「家庭学習」が今後ますます求められることでしょう。そのために、普段から、やらされる学習スタイルを更新していくことが必要となります。



新年度へ

- 充実した独立感。一人で学べる環境から実感へ。
- 主体的な学びの獲得が充実した家庭学習を生む
- テクノロジーを活用した一人学習の実現

⇒ 主体的に学べる環境整備と家庭学習の充実

- ・ おうちでGIGAスクール
- ・ 主体的な学びの獲得

Themeごとの分析

⑨地域

教⑨ 地域の特性を生かした教育課程を実行することができましたか？

校務⑨ 小中一貫教育の充実を目指し、向陽台小や向陽台中の教職員と、連携を深めることが出来ましたか？

児⑨ 地域の方から学んだことや、地域の行事（お祭り・ボランティア）などに参加することで、自分の住んでいるまちの良いところに気づけましたか？

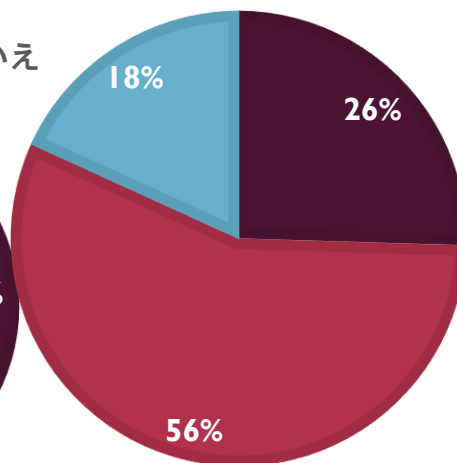
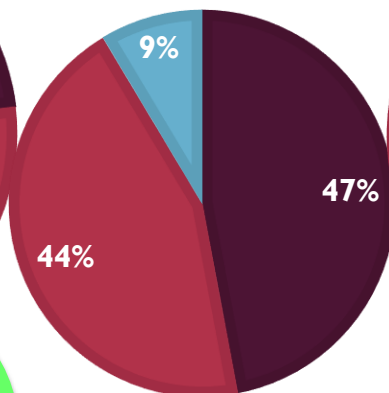
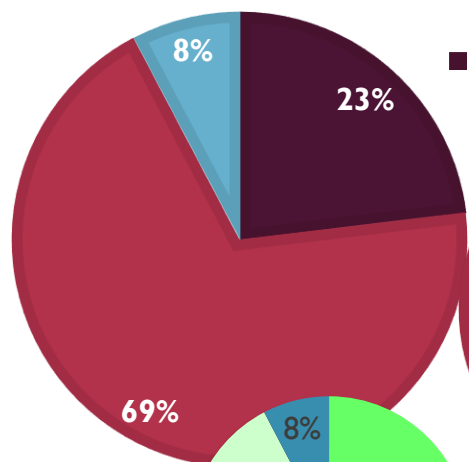
保⑨ お子さんが地域の一員であると自覚できるような、関わりをもつことが出来ましたか？

教職員

児童

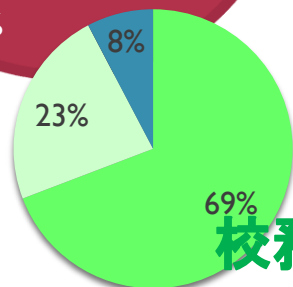
保護者

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ



校務分掌

■ はい！ ■ ふつう ■ いいえ



成果を 実感へ

全体的にどの立場からでも、実感がとても低いのが「地域」としたキーワードです。では、みんな、そんなに地域を無視した教育活動をしてきたのでしょうか。結果はノーですね。教育課程を見ても、家庭での関わりを見ても、個人差はあれど必ず「地域」を大切にしたい学習活動を行っているのです。

よって、あとは実感と「生かし方」なのだと考えます。地域との関わり方の薄さを感じずに、行ってきたことへの自負と誇りを持ちたいものです。

私たちの千歳、ふるさと向陽台。そして北海道。今後も大事にした教育を展開していきましょう。



新年度へ

- 地域との関わりを十分に積み上げてきている。
- その良さをどう実感させていくか

⇒私たちの取組に成果の実感を持たせる活動に
・地域を大事にした教育活動の持続

Themeごとの分析

⑩気づきと行動

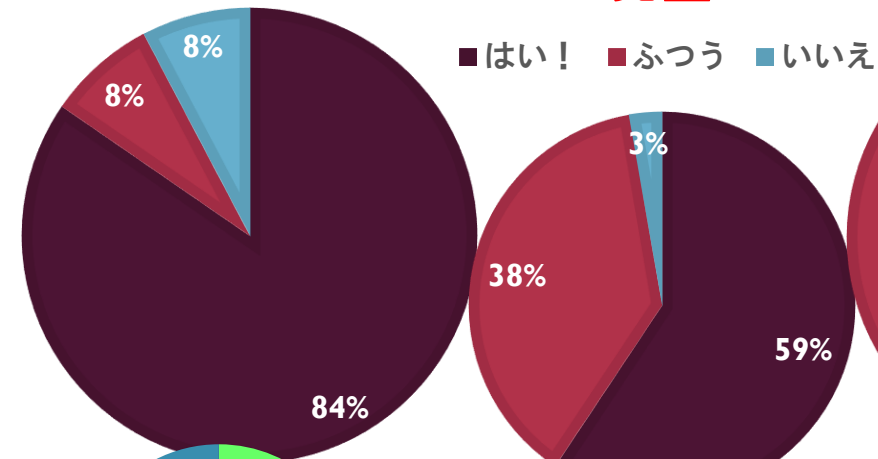
教⑩児童の「気づきと行動」を認めることができるような、教育活動を展開することができましたか？

校務⑩校務を実行するために必要な事項に自ら気がつき、職員間の連携を高めながら業務遂行にあたれましたか？

児⑩色々なことに気づいて行動することができましたか？

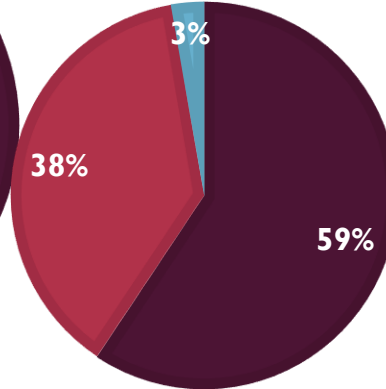
保⑩お子さんが、様々な場面で「気づきと行動」が発揮できるような、関わりを持てましたか？

教職員

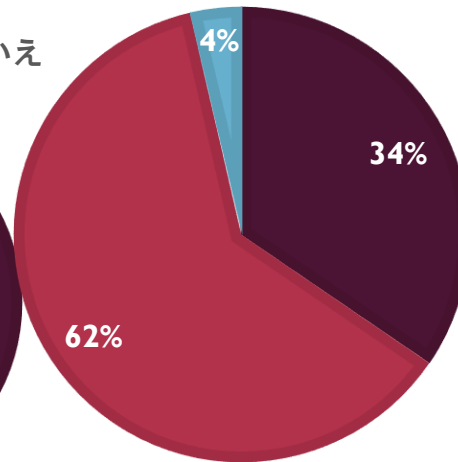


児童

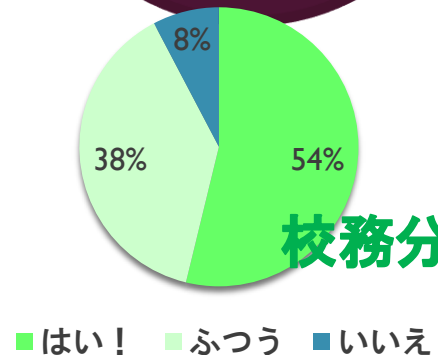
■ はい! ■ ふつう ■ いいえ



保護者



校務分掌



学校の「テーマ」としての根づきを感じます。今年度最も意識することができたキーワードに、大きな成果を感じます。家庭での感じ方が今ひとつ物足りないですが、そこは他項目においての成果として現れていると感じます。

今年度の取組が数値となって出た結果と捉えています。



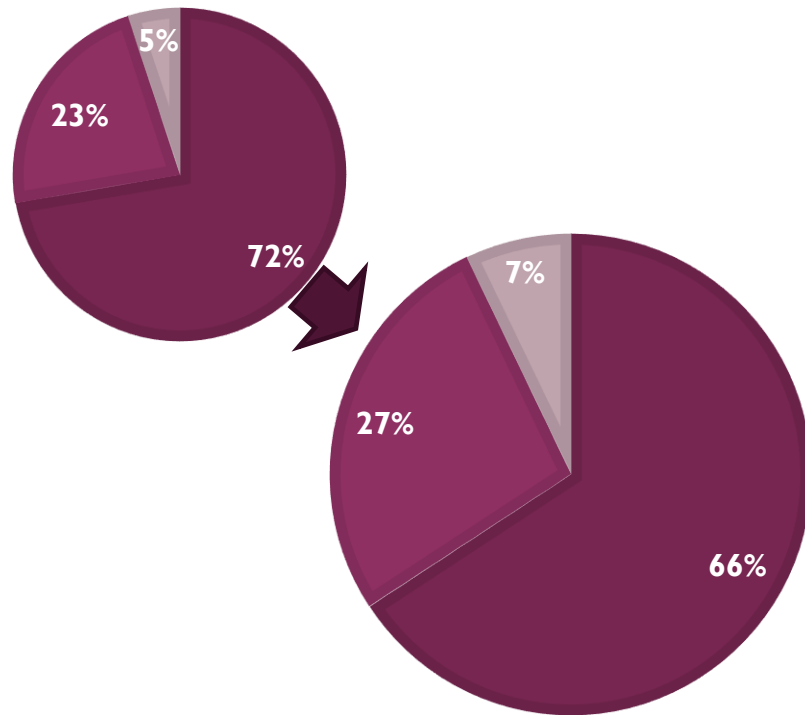
新年度へ

- テーマの良さを家庭へどう伝えどう生かすか
- 主体的な働きへ、チーム泉沢の成果へ

⇒自ら気づいて行動したことは、自分の道をつくってきた成果であります。子どもも教師も保護者も、成長してきた実感を大切にしましょう。

児童「理科の学習は好きですか？」

■はい！ ■ふつう ■いいえ



やや低下はあるものの、現状維持と捉えます。変化を見るのではなく、93%の子どもが、理科を好んでいるとキャッチします。

来年度の実施を視野に入れ、授業改革や働き方改革、そして本校の教育活動の充実へとてきましよう。



新年度、理科専科加配を申請中。
向陽台小学校との兼務か。

理科学習の充実へ更にステップアップを！

理科の学習

児⑪理科の学習は好きですか？